

不具合の点検を依頼する場合

不具合の点検を依頼する場合

まずご使用の製品のF/Wが弊社HPで公開しているVerより古い場合はUPDATEして改善されるかを最初に試して下さい。常に症状の出ていない場合は、お客様のほうで不具合状況を確認出来る写真or動画の撮影をお願いします。その後取り付け業者にてご相談下さい。直接不具合動画を確認出来る場合は業者へ視聴してもらい判断をお聞きください。製品のF/Wアップデートで改善する内容でしたらUPDATEとなりますが、最新F/Wでも改善されない場合は本体を取り外し弊社までお送り下さい。(保証書必須)
端子など外傷がある場合は有償となりますので、各端子類の状況など確認して下さい。

※端子損傷で基板にまで損傷が達している場合は全損で、基板交換(有償)となります。

お客様or取り付け業者様の方で弊社へメールにて点検依頼をお願いします。

メール宛先 件名 staff@a-tack.net
AT-VEM8288HD 不具合点検

メールには ●ユーザー名 ●製品シリアル番号
●取り付け依頼店 ●不具合内容
●取り付け車両名と年式

○ 不具合が発生する条件などが有れば詳細を記入して下さい。
(使用開始直後/30分後くらいからなど...発生頻度など...)

抽象的な不具合内容の記載だと確認に期間を必要とする場合があります。また不具合確認出来ない場合もあります。不具合が当製品の影響と断定した検証内容など、なるべく詳しく記載してください。

● ダウンロードURL(動画などネットサービス経由の場合)
写真の場合は添付にて送付して構いません。15Mを超えるファイルはネットサービス経由で行ってください。

動画ファイルの場合はファイル容量がありますのでネットサービス経由などをご利用下さい。

ギガファイル便 使い方 (スマートフォンから)
QRコードよりギガファイル便のページにアクセスします。(https://gigafile.nu)

ページ上部は広告です。少し下へスクロールして下さい。
アップロードする部分で「ファイルを選択」をタップします。
スマートフォンに記録した動画ファイルを選択します。
ファイルがクラウド上に転送されてダウンロード用のURLが発行されます。
このURLをタップ2回してコピーして、弊社に送るメールにペーストして下さい。

https://gigafile.nu



ファイルが複数ある場合は全てのファイルをクラウド上に転送後、「まとめる (URL 発行)」をタップすると纏めたURLが発行されますのでそのURLを2回タップしてコピーし、メールにてお知らせください。

弊社でメール内容から動画を確認し、取り付け業者様から製品が弊社に届き次第点検確認致します。
発生頻度が極端に少ない場合は確認に日数を要しますのでお時間が掛かります。

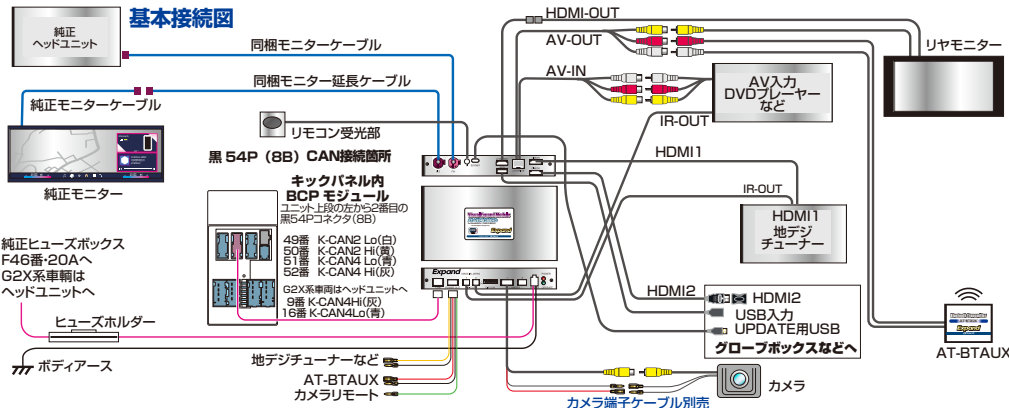
発生頻度が少ない場合は本体不具合より別原因の可能性が高いので
車両確認を確実に実施後に依頼するか検討して下さい。

修理内容などメールにて返信致します。
修理後、取り付け業者様宛てに製品を配送致します。

※F/Wが古いまま送られて来た製品は UPDATE 後の検証で一通りの動作に問題なければ返却となり
長期検証は行いません。
必ず不具合は最新 F/W でも再現されしうのか確認のうえ点検依頼をして下さい。

※不具合の確認出来ない製品は送料着払いでの返却となります。

基本接続図



Visual Expand Module AT-VEM8288HD

OS8 MGU21 / OS8.5 MGU22 (Curved display long type only)

MADE IN JAPAN

Ver1.0X.XX

USERS MANUAL

Expand

コントロール対応地デジチューナーはExpand AT-DTV4X/Pro, Elut AG406DT, アルバイン/TUE-T500のみです。
(TUE-T500は別売のAT-IR335が必要です。TUE-T500は音声小さい傾向にあるのでお勧めしません。)

コントロール対応DVDプレーヤーはElutAG410-DVです。(別売のAT-IR335が必要です。)

HDMI入力する機器がHDMI-CEC機能に対応していれば車両スイッチにてコントロール可能です。
(Amazon FireTVやGoogleTVなど。機器側の設定も必要です。)

Bluetoothオーディオトランスミッター AT-BTAUX付属

当製品を装着致しますと車両起動時にモニターに数秒間「BMW」ロゴが表示されますが異常では有りません。仕様となります。

※OS8車両では10秒以上「BMW」ロゴが表示されます。ご了承下さい。

注意

当製品は車両CAN信号とモニタータッチ操作信号を基に動作致します。
車両CAN信号は予期せぬ不具合の発生を避ける為に、検査するのみで制御は行いません。その為、基本的な操作はタッチ操作をメインとします。純正機能の動作に影響の無い操作のみ純正スイッチ部へ操作を割り振っています。

当製品は外部映像機器を車両モニターに入力する為の機器です。
車両の電子機器ユニットや当製品などは高度に制御されていますが、稀に外来ノイズの影響などで正常動作が出来なくなる可能性があります。

PCやスマートフォンなどが稀にフリーズなど正常動作が出来ない不具合が起きるのと同様とお考え下さい。

正常動作出来ない場合は当製品の再起動をお試し下さい。

詳しくは17ページ以降をご覧ください。

車両起動時は最初にモニター映像信号の品質確認動作が入ります。その為映像が表示されるまで6~10秒掛かります。

CarplayやAndroidAutoを利用する場合は自動接続にせず使用する時のみ車両側で接続許可するような使用方法を推奨します。

CarplayやAndroidAutoはワイヤレスで接続される為、勝手に車両のAVソースがCarplay or AndroidAutoに移行してしまう場合があります。当製品では勝手にAVソース移行した事を検知出来ない為、

外部AV映像が映ったまま音声が出ないなどの発生する可能性があります。

CarplayやAndroidAutoを利用する場合は、外部映像を視聴する前に車両側でCarplay or AndroidAutoの接続を解除する使い方を推奨します。

MAPは純正では無くCarplay or AndroidAutoを使用したいという使い方も可能では有りますが、当製品の操作に制限が出ます。

外部映像の呼び出し方法は2種類用意しています。ステアリングスイッチの対応出来ます。それ以外の呼び出し方法は純正MAPとなります。

Carplay or AndroidAutoを利用設定したままでの当製品の動作で動作不具合は弊社では対応致しません。

ボイスコマンドによるDriveの操作なども当製品では検知致しませんので、そのような操作をするとは予期せぬ動作となる可能性があります。ご注意ください。

外部機器の音声再生はBluetoothオーディオ経由で再生されます。

Bluetoothオーディオ機能はAT-BTAUXで使用する為、他の機器ではBluetoothオーディオとしての接続がされないように接続機器の登録を行ってください。

車両が他のBluetoothオーディオ機器を検索する動作時にノイズが発生します。これは車両システムの仕様です。

a-tack

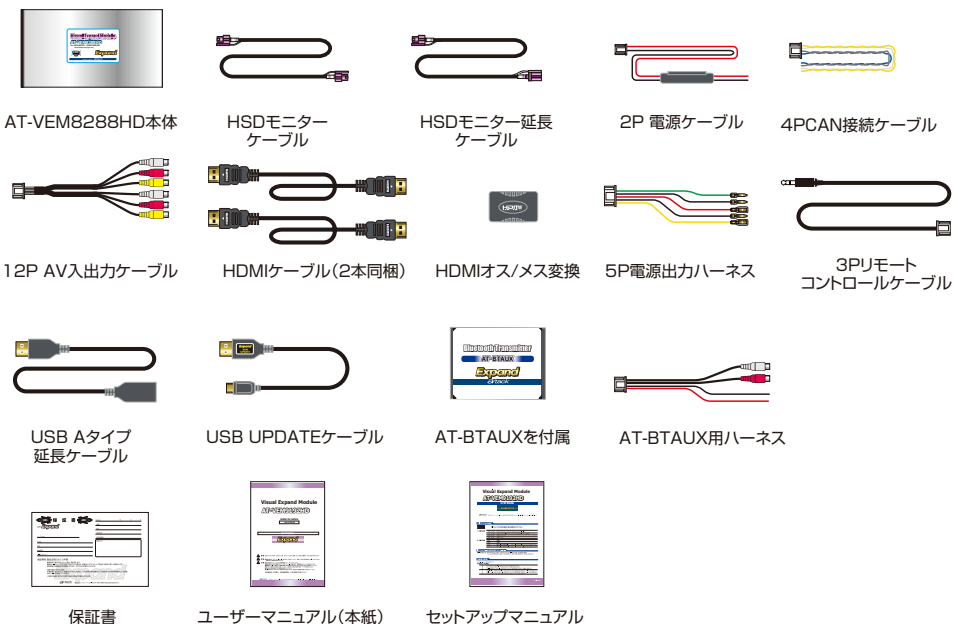
株式会社イタック 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田5581 Phone.045-595-1730 Facsimile.045-595-1733

もくじ

- 1 もくじ、商品構成
- 2 再生される音声について、 VEMメニューの操作方法
- 3 メニュー項目説明1 ラストソース、リバースアクションの設定
- 4 メニュー項目説明2 アクションタイミング、カメラリモート、VEMセーフティ、IG-ONタイミングの説明
- 5 メニュー項目説明3 外部AV入力の設定
- 6 メニュー項目説明4 カメラ入力の設定
- 7 外部AV映像の表示方法
- 8 外部AV映像の表示パターンの変更方法
- 9 車両スイッチによる外部機器のコントロールDTV
- 10 車両スイッチによる外部機器のコントロールDVD、FireTV、GoogleTV
- 11 USBメディアソースのコントロール
- 12 使用上の注意 / 当製品のアップデート方法
- 13 故障かな?と思ったら……1
- 14 故障かな?と思ったら……2
- 15 不具合点検依頼について

商品構成

商品構成



別売オプション

IRケーブルAT-IR335(アルバインTUE-T500、ELUT AG410DVのコントロールするのに必要です。)
 6Pカメラ変換ハーネスAT-1CAM6P(カメラ1入力にRCAタイプのカメラを接続するのに必要です。)
 4Pカメラ変換ハーネスAT-2CAM4P(カメラ2入力にRCAタイプのカメラを接続するのに必要です。)

故障かな?と思ったら……

何らかの不具合が発生した場合

車両や当製品は高度に制御されたデータ通信により動作しています。何らかの影響で通信エラーなどが起きた場合、正常動作出来なくなる場合があります。PCやスマートフォンなどでも起り得る再起動を必要とする症状です。当製品は再起動動作も搭載しています。
 常時発生している不具合では無く稀に起きる不具合の場合、写真や動画で不具合の状況を撮影をお願いします。
 弊社に製品点検依頼の場合、不具合状況の写真や動画の提供が必要となります。

当製品の再起動

- ステアリングM/Fの2ボタンorリストボタン7秒長押し
 再起動動作後はモニターがブラックアウトして表示されるまで10~20秒ほど掛かります。
- 車両OFFにして第2スリープまで放置後の起動
 車両スリープの概念が判別し難くなっています。車両をロックして5分ほど放置します。(車両付近でキーリモコンは動かしてはいけません)

純正ヘッドユニットの再起動

- オーディオボリュームボタン20秒長押し (iDriveシステムのリセット再起動)
 純正機能のヘッドユニット再起動動作です。
 ヘッドユニット内に蓄積されたエラーなどは車両スリープでは消えず、動作不具合が継続する内容などがあります。
 このオーディオボリュームボタン20秒長押しのiDriveシステム再起動は定期的に行うのが良いと思われます。

※外部機器とのベアリングが上手く行かない場合は大抵これで直ります。

- 車両OFFにして第2スリープまで放置後の起動(車両各ユニットの電源喪失後の再起動)
 車両ロックを掛け5分ほど放置です。車両キーを動かすなどすると上手くスリープに入りませんのでご注意ください。
 ※この第2スリープまで突入させる方法が車両のほとんどのユニットがスリープに入る為、ユニット間の整合性も整います。
 ※確実に第2スリープに入ったか確認するには例えばシガーソケットにランプなどが点灯する機器を接続します。
 第2スリープに入るとシガー電源も停止しますのでランプ消灯で確認出来ます。

昨今の電子機器は高密度化されたモジュール構造でデータ通信制御されています。外来ノイズなどの影響で稀に不具合が発生したりする場合があります。これは避けられない不具合でもありますが、頻発する場合は何らかの原因が考えられます。

取り付け業者にご相談下さい。
 他の電子機器からのノイズの原因なども考えられます。電波を使う機器などは技術適合している製品が確認し、未認可の製品は違法ですので使用をお止めください。
 その他、標準以外の電装品が後付け装着されている場合、それらがノイズを発しているケースもあります。安いコピー商品などに多い傾向があります。
 不具合の切り分けを必要とする場合、外部の電装機器を取り外してみようとするのも必要です。
 沢山ノイズを発生している他車両との並走などでも影響が出る場合があります。
 ドラレコやレーダー探知機などの機器や5V電源出力アダプターなどもノイズ発生する製品があります。信頼のあるメーカー製をご使用下さい。
 LEDバルブ類などもノイズを発生している場合があります。ご注意ください。

昨今の電子機器は高密度化されたモジュール構造でデータ通信制御されています。外来ノイズなどの影響で稀に不具合が発生したりする場合があります。これは避けられない不具合でもありますが、頻発する場合は何らかの原因が考えられます。取り付け業者にご相談下さい。
 他の電子機器からのノイズの原因なども考えられます。電波を使う機器などは技術適合している製品が確認し、未認可の製品は違法ですので使用をお止めください。
 その他、純正以外の電装品が装着されている場合、それらがノイズを発しているケースもあります。安いコピー商品などに多い傾向があります。
 不具合の切り分けを必要とする場合、外部の電装機器を取り外してみようとするのも必要です。
 沢山ノイズを発生している他車両との並走などでも影響が出る場合があります。
 ドラレコやレーダー探知機などの機器や5V電源出力アダプターなどもノイズ発生する製品があります。信頼のあるメーカー製をご使用下さい。LEDバルブ類などもノイズを発生している場合があります。ご注意ください。

故障かな?と思ったら……

外部AV映像に切り換わらない……

- 当製品がリバーアクション中の場合には外部AV映像には切り換わりません。PDC-ONorバック中など。
バック移動後に[P]で操作する場合、PDCがONの状態のままなのでそれが原因の可能性があります。
- PDC-OFFでHOMEアイコン長押しでVEMメニューが表示されるなら当製品は正常動作しています。VEMメニューで各入力の設定を確認して下さい。
- 上記いずれにも該当せず動作しない場合は電源のヒューズ切れの可能性が有ります。電源を確認して下さい。

走行中に外部AV映像が観れない……

- 当製品は安全の為デフォルトでは停車中のみ外部AV機器の視聴が可能です。
VEMメニューの設定でセーフティ解除をする事で走行中の視聴が可能になります。これは同乗者の為の機能です。
※外部AV映像小窓表示の場合はVEMセーフティON状態でも走行中視聴可能です。

音声が生再生されない……

- 車両メディアソースが外部音声入力をしたAT-BTAUXソースにされていますか?
オーディオソースがBluetoothのAT-BTAUXを選択されていないと音声は再生されません。
モニターペゼルの「TEL」を押しAT-BTAUXのBluetoothオーディオアイコンが点灯しているか確認して下さい。
- 外部機器のボリュームや車両のボリュームが最小もしくはミュートになっていませんか? ボリューム操作を行ってみてください。
(オーディオミュート中は外部映像にミュートアイコンが表示されるように致しました。)
- Carplay or AndroidAutoを利用していますか? 車両とはワイヤレス接続の為、勝手に車両メディアソースがCarplay or AndroidAutoに移行してしまう場合が有ります。

当製品を使用する場合はCarplay or AndroidAutoの自動接続をしないように設定で変更して下さい。

外部機器の操作が車両スイッチやタッチアイコンで操作出来ない……

- 接続した機器とVEMメニューで設定したコントロール機器が合っていますか? 地デジチューナーなどの機種に合わせて設定して下さい。
- リモコン操作では反応しますか? 反応しない場合、外部機器までのリモコン信号線の確認が必要です。一旦、受光部を当製品を介さずに直接外部機器に接続してリモコン反応する場合は当製品の信号出力ICの故障orリケーブルの断線が考えられます。

外部機器の操作が車両スイッチやタッチアイコンで操作出来ない……

- 接続した機器とVEMメニューで設定したコントロール機器が合っていますか? 地デジチューナーなどの機種に合わせて設定して下さい。
- リモコン操作では反応しますか? 反応しない場合、外部機器までのリモコン信号線の確認が必要です。
一旦、受光部を当製品を介さずに直接外部機器に接続してリモコン反応する場合は当製品の信号出力ICの故障orリケーブルの断線が考えられます。

画面がブラックアウトした……

- 何らかのエラーで純正モニターが映像信号を処理出来ない状態になった可能性が有ります。
ステアリングM/FのPボタンorリストボタンを7秒ほど長押しして下さい。当製品が再起動します。
これで復活するかお試下さい。復活しない場合は車両を第2スリープまで入れて下さい。

画面がブラックアウトしBMWブランドロゴが表示される……

- 何らかのエラーで純正システムor当製品が動作不具合を起こした可能性が有ります
オーディオボリュームボタン20秒長押しすると純正ヘッドユニットが再起動致します。
これで復帰するかお試下さい。外部ノイズの影響など稀に起きる可能性は有ります。PCやスマートフォンなどでも起り得るエラーと同様とお考え下さい。
頻発する場合はお買い上げ業者にご相談下さい。当製品が介入する為、モニターケーブルの接触不良が考えられます。
車両起動時に数秒間表示されるBMWロゴは仕様となります。ご了承下さい。数秒後に純正映像が表示されれば正常です。
(稀に起こるブラックアウトやBMWロゴ表示は当製品を取り付けていない純正状態でも起り得る症状です。)

画面がブルースクリーン……

- 外部AV映像入力に切り換えている状態でのブルースクリーンは当製品が映像信号無しを判断して出力しています。
外部機器の電源及び映像線の接続を確認してください。
- 当製品の使用していない入力かUS設定になっていませんか? 使用していない入力はNOT USE設定にして呼び出されないようにします。
- VEMメニューの左側のサービス電源出力用の黄色いアイコンや赤いアイコンがOFF状態になってないか確認して下さい。
- カメラ入力を使用していないのに呼び出し操作ONになっていませんか? VEMメニューでOFFにしないと操作によっては呼び出される可能性が有ります。

純正映像の表示に不具合(ノイズが出る。揺れるなど……)

- 純正映像はHUから出力された後、当製品で処理して再出力を行いモニターで表示されます。
外部映像の表示に問題無く、純正映像のみに不具合が出る場合、HU～VEM間のモニターケーブルの接触不良などが考えられます。
両端の接続を抜き差しして改善するか確認が必要です。お買い上げ業者にご相談下さい。
- 外部後付け電子機器の影響で干渉している場合も考えられます。後付け機器の電源をOFFにして改善するか確認して下さい。

その他、動作不具合と思われる症状が出た場合、ボリュームボタン20秒長押しの純正ヘッドユニットの再起動動作を試してみてください。
稀に起こる不具合は外部ノイズの影響など回避不可の場合も有ります。PCやスマートフォンなどでも稀に不具合で再起動を要するのと同様とお考え下さい。
当製品は車両CAN信号とモニタータッチ信号を基に動作する製品です。
ディーラーなどでの整備の際に車両側のプログラムが更新された場合、当製品のF/Wとの整合性が合わなくなり正常動作出来ない可能性があります。
弊社HPで当製品の更新されたプログラムをUPしますので、使用している製品のF/Wが古い場合はUPDATEを行ってみて下さい。
コーディングなどを行った車両も同様です。仕様が変わる事でCAN信号データも変わる場合が有り一部機能が対応出来ない可能性があります。
当製品のF/WバージョンはVEMメニューの右上に表示されています。

純正機能のジェスチャー操作機能について

当製品の操作ではタッチ操作がメインとなる為、タッチ操作時にジェスチャー操作機能が反応してしまうケースが有ります……
純正のこのジェスチャー操作機能は設定で停止する事をお勧めします。

再生される音声について

当製品に接続したAV機器の音声は車両のBluetoothオーディオから再生されるようになります。(指定の結線で設置した場合)
外部AV映像に切り換える場合は先に車輛オーディオソースをBluetoothオーディオに切替して下さい。
製品インストール時に適切に設定されていれば、車両オーディオソース内にBluetoothオーディオとしてAT-BTAUXが存在しているはずで
車両起動時はBluetooth接続が未接続状態から接続動作となりますので数秒後に接続され外部AV機器の音声再生されます。
スマートフォンなど携帯機器の登録の際にはそれら外部機器のBluetoothオーディオはOFFとしてハンズフリーのみ許可するようにして下さい。
Carplay or AndroidAutoは使用する場合のみ車両側で接続許可して使用時以外ではOFFにする事を推奨します。
(スマートフォンの音楽再生などはCarplay or AndroidAuto経由でWi-Fi接続にて再生可能ですのでBluetoothオーディオ接続はOFFにします。)

VEMメニューの操作

VEMメニューの操作

iDriveコントローラーのHOMEボタンを長押しします。
※VEMメニューの操作は操作は画面タッチで行います。iDriveコントローラーの操作では出来ません。

純正画面内の🏠アイコンをロングタッチでも可能です。
(OS8の場合、純正のTOPメニューに居る場合 アイコンは表示されません……
普段から🏠アイコンが表示される座標を ロングタッチする事でVEMメニューが表示されます。)

縦に緑色文字表示でメニュー項目が並んでいます。右側が設定項目変更内容です。赤文字が現在の設定です。
左側のアイコン操作でメニューのページ変更が出来ます。
左上の「Expand」ロゴをタッチしますとVEMメニューから退出します。iDriveコントローラーのボタン操作でも退出します。
左列の黄色い🟡アイコンと赤い🔴アイコンでは当製品のサービス電源出力のON/OFFのコントロールが出来ます。
(OFFにすると🟡→🔴、🔴→🟡になります。)
リヤモニターの電源などを5Pサービス電源から取得している場合、必要無い時にOFFに出来る機能です。
OFF設定は記憶されますので次回起動時はその状態が引き継がれます。

基本的に製品取り付け時にインストーラーが各設定を行っているはずで。
ユーザー様が設定を変更する場合、判らなくならないように現在の設定を写真撮影しておく事をお勧めします。

VEMメニューの各ページを撮影して保存しておきましょう。

メニューページ

電源出力
ON / OFF

Expand		AT-VE8288HD F/W v1.00.xx			
1/4	LAST SOURCE	ON	OFF		
▲	REVERSE ACTION	ORIGINAL	ORIGINAL+C1	ORIGINAL+C2	NO ACTION
▲	ACTION TIMING	PDC LINK	BACK GEARLINK		
▼	CAMERA REMOTE	CAMERA1 INPUT	CAMERA2 INPUT	NOT USE	
▼	VEM SAFETY	LOCK	UNLOCK		
▼	IG ON TIMING	EARLY	LATE		
▼	HDMI1	USE	NOT USE		
🟡	VIDEO DELAY	ON	OFF		
🔴	SIGNAL SELECT	EXPAND DTV	ELUT DTV	NOT USE	
	HDMI-CEC	ON	OFF		

メニュー項目

設定項目

メニュー項目説明1

「LAST SOURCE」

前回起動していた時の最後の視聴ソースを自動的に表示するかどうかの設定です。

- **ON** 前回最後に外部AV映像を視聴していた状態で車両OFFした場合、次回起動時に自動的にそのソースが呼び出されます。
※最後の状態がリバースアクション中の場合、リバースアクションに入る前のソースが最後の状態です。
※車両起動時に何らかのエラー表示が出た場合、内容確認前に外部映像に切り換わってしまいます。
外部映像の下側をタッチする事で純正映像に戻り、内容を確認出来ます。
この時のタッチ信号はヘッドユニットに伝わらないように制御していますので純正画面内容が変わらないようにしています。
(iDriveコントローラーで純正画面に戻す場合は制御されていない為、内容確認出来ません。)
- **OFF** 毎回起動時は純正画面となります。外部AV映像へは切換操作が必要です。
(デフォルト設定です。)

※外部AV映像の音声はBluetooth接続完了後に再生が始まりますので、ラストソース切換当初は無音となります。

「REVERSE ACTION」

車両をバックギヤに入れた場合の当製品の動作をどうするかの設定です。

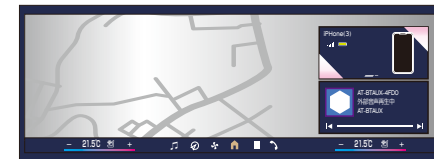
- **「ORIGINAL」**
外部AV映像視聴中でもバックギヤに入れたら純正画面に戻ります。純正バックカメラ映像となります。
- **「NO ACTION」**
リバースアクション動作を停止します。外部AV映像視聴中にバックギヤに入れたも画面は切り換わりません。
外部AV映像+純正映像を小さく表示するモードなどでカメラ映像は小さくても良い場合などにご使用下さい。
※全車純正バックカメラ付きなので外部カメラをバックカメラとして表示出来るリバース連動は搭載していません。

使用上の注意

外部AV映像の音が出ない場合

音が出ない場合はオーディオソースがBluetoothオーディオになっているか確認して下さい。
純正画面でAT-BTALUXが接続済みになっているか確認します。

ラストソース機能を使用の場合、音声再生の準備が整う前に切り換わります。
直後は再生されない場合があります。



スマートフォンなどハンズフリー接続をする場合の注意

車両にスマートフォンのBluetooth接続設定をする場合は、スマートフォン側の設定で車両とのBluetooth接続設定でメディアのオーディオをOFFにてご使用下さい。
Bluetoothオーディオとしてスマートフォンのメディア再生は出来なくなりますが、メディア再生はCarplay or AndroidautoでWiFi経由で再生可能です。
Bluetoothオーディオ接続は外部AV機器再生のAT-BTALUXで使用します。
他の機器の登録があると起動時にどちらが選択されるかわかりません……
またAT-BTALUX接続が確立しても、車両が他のBluetoothオーディオ接続を検索する際に音声にノイズが混入しますので、他のBluetoothオーディオ機器は登録しないようにして下さい。

当製品のアップデート方法

当製品のアップデート方法

当製品は製品の安定性向上や機能改善など常にF/Wの改良を行っています。
車両のF/Wが更新される事で整合性が合わなくなる事も考えられますので、製品のF/Wが古い場合更新をお勧めします。
新しいF/Wは弊社HPの製品紹介ページで公開しています。

前準備

※弊社製品HPから最新F/Wを作業に使用するノートPCにダウンロードして解凍します。AtackDFUアプリ&ドライバーをインストールしておいて下さい。
※UPDATEに使用するPCの準備の方法は弊社製品HPから確認して下さい。

UPDATE手順

- ① UPDATEケーブルがPCと接続できるように準備します。(まだ接続しません)
- ② 車両ドアキャッチを疑似ロックしてリモコンキーで車両ロックします。(ドアを開けたままロックするという事です)
- ③ 車両が第2スリープに入るまで放置します。(キーリモコンを動かしてはいけません)
- ④ PCのAtackDFUアプリを立ち上げ車両が第2スリープに入ったらUPDATEケーブルをPCと接続します。
- ⑤ PCのAtackDFUが「デバイスが接続されました」となるので「ファームウェア選択」をクリックして最新F/Wをマウントします。
- ⑥ AtackDFUの「アップデート」をクリックすると消去→書き込み→検査と続き、「ファームウェアが一致します」となれば完了です。
- ⑦ UPDATEケーブルをPCから取り外して車両をアンロックしてIG-ONにします。新しいF/Wで起動します。
- ⑧ VEMメニューを開いて右上のプログラムVerが最新になっているか確認します。

※PCと接続出来ない場合は第2スリープに入っていない可能性があります。
※車両スリープ状態や当製品を取り外した状態などの電源を喪失している状態ではUPDATEケーブルをPCと接続すれば常にUPDATE可能です。

USBメディアソースのコントロール

USBメディアソースのコントロール

※USBメディアソースはアプリ画面の映像を直接操作は出来ません。操作アイコンを表示させて操作します。



アイコン/スイッチでの操作

「↑」アイコン	1 短押し	1 画面内アイコンの↑移動
「↓」アイコン	2 短押し	2 画面内アイコンの↓移動
「←」アイコン	3 短押し	3 画面内アイコンの←移動
「→」アイコン	4 短押し	4 画面内アイコンの→移動
[ENTER]アイコン	5 短押し	5 決定操作
[BACK]アイコン	6 短押し	6 戻る操作
「@」アイコン	7 短押し	7
オーディオ◀◀ボタン	8 短押し	8 前のファイル
オーディオ◀◀ボタン	9 長押し	9 一時停止
オーディオ▶▶ボタン	10 短押し	10 次のファイル
オーディオ▶▶ボタン	11 長押し	11 再生
ステアリングJOG←操作	12 短押し	12 前のファイル
ステアリングJOG→操作	13 短押し	13 次のファイル

操作アイコンの無い表示方法での 操作アイコンの表示方法

外部AV映像の中心部分を2本指を使い2点タッチします。
(2点間隔は20mmほど離れるようにタッチして下さい。)

操作アイコンの無い表示方法の場合、
外部AV映像の左側/右側を1秒ほどタッチすると
▶|◀の操作が出来ます。

※この入力にはレジューム機能は有りません。
次回呼び出し時はTOPメニューから表示されます。

カメラ映像の呼び出し方

カメラ映像の呼び出し方

当製品にはカメラ1、カメラ2の入力が有り2系統のカメラを接続する事が出来ます。
VEMメニューで設定された呼び出しボタンを2重打します。カメラ映像はFULL画面で表示されます。
カメラ映像を消すにはモニター下部をタッチするかDriveコントローラーのボタンを押します。純正画面に戻ります。
カメラ映像に切り換える前か外部AV映像視聴中だった場合などは、カメラ映像を消す時に外部AV映像の呼び出し操作をして下さい。

※カメラ映像を呼び出す事で外部AV映像表示動作はOFFとなります。
(ViewPoint機能で自動呼出しされる場合のみリバースアクション同様に元の映像に戻ります。)

アルパイン製のフロントカメラを装着した場合の操作

アルパイン製のフロントカメラには表示映像を3パターン切り換えできる機能が有ります。
カメラ映像の中心部分をタッチする事で表示パターンを切り換え出来ます。
この小窓表示はタッチ操作にて任意の場所に調整可能です。場所移動は記憶され次回も同じ場所に表示されます。

当製品のカメラ入力を利用した場合は「View Point」機能が利用可能です。これは予め登録した場所で自動的にカメラ入力を呼び出す機能です。
フロントカメラ装着していたらとても便利に使用出来る機能ですので是非ご利用下さい。8ページ参照。

リヤモニター出力について

当製品にはリヤモニター出力としてコンポジット出力とHDMI出力を各1系統装備しています。
フロントの純正モニターで表示している外部AV映像入力と同じ入力を出力します。HDMI端子の出力は720pです。※純正映像は出力出来ません。

当製品のリヤファアウトよりリヤモニター電源を取得しているならば、VEMメニュー操作で任意に電源のON/OFFが可能になります。
リヤに同乗者が居ない場合など、リヤモニターをOFFしておく事が可能です。2ページ目参照

メニュー項目説明2

「ACTION TIMING」

リバースアクションの動作タイミング設定です。

●「PDC LINK」

車両のPDC-ONに連動してリバースアクションが動作します。純正バックカメラはバック時PDCも同時起動しますのでバックギヤから抜いてもPDC-ONなのでリバースアクションは終了しません。
PDCをOFFにする操作でリバースアクションは終了します。純正の動作と同じタイミングで動作する設定です。

※バックの後、前進走行を数十メートル走るか速度を上げる事でPDCはOFFになります。

※バックの後、パーキングポジションで外部AV映像を視聴するには車両のPDCボタン操作でPDC-OFFにして下さい。

●「BACK GEAR LINK」

リバースアクションはバックギヤに入れている時のみ動作する設定です。
バックギヤから抜くと元の画面に戻ります。

※PDC動作判定は検査しませんのでオートPDC動作に追従は出来ません。

「CAMERA REMOTE」

当製品のカメラリモート入力線に+信号が入力されるとカメラ入力を強制的に表示する事が可能です。
その設定項目です。
使用していない場合は「NOT USE」のままにして下さい。

- 「CAMERA1 INPUT」 リモート線に+信号が入力されるとカメラ1入力を強制的に表示します。
- 「CAMERA2 INPUT」 リモート線に+信号が入力されるとカメラ2入力を強制的に表示します。
- 「NOT USE」 使用しません。リモート線に+信号が入力されても無反応になります。

「VEM SAFETY」

当製品に接続したAV機器の映像を走行中でも視聴可能にするかどうかの設定です。

- 「LOCK」 AV機器の映像は停車時のみ視聴可能です。走行開始すると「安全の為、走行中は視聴出来ません」とOSD表示されます。停車すれば再度視聴可能です。
※VEM内蔵のUSBメディアソース選択で音楽ファイル再生中でも同様で走行中制限がかかります。ご了承下さい。
※外部AV映像を小窓表示で使用中は「LOCK」状態でも走行中視聴可能です。
- 「UNLOCK」 外部AV機器の映像は常に視聴可能となる制限解除状態です。
同乗者の為のモードです。運転者はご注意ください。

「IG ON TIMING」

動作可能となるIG-ON判定を変更出来ます。

- 「EARLY」 早めにIG-ON判定となります。走行後はOFFにてトア開で動作終了となります。
EV車などは充電中などの時間に車内で外部AV機器視聴が可能です。
- 「LATE」 車両が走行可能状態の時のみIG-ON判定となります。
走行後はスタート/ストップボタンを押した直後に動作終了となります。

メニュー項目説明3 外部AV入力の設定

「HDMI1」「HDMI2」「AV」「USB」

各AV入力の設定です。

- 「USE」 この入力を使用します。
- 「NOT USE」 この入力を使用しません。入力ソース切替のアイコン表示にも表示されません。

「VIDEO DELAY」

AV入力での映像遅延機能を使用するかどうかの設定です。(各入力個別に設定が必要です)

- 「OFF」 映像遅延機能を無効にします。外部機器側の遅延機能を使用する場合や遅延の必要の無いオーディオソース入力を利用した場合の設定です。
- 「ON」 OS8.5では映像を0.2秒遅らせる事が出来ます。Bluetoothオーディオ経由での再生で映像と音声の同期が合います。OS8では映像を0.3秒遅らせる事が出来ます。実際の遅延より若干少ないですが気になるほどでは有りません。(スペックの関係で0.3秒が限界です……)

「SIGNAL SELECT」

この入力に連動動作するリモコン信号の種類の選択です。

- 「EXPAND DTV」 弊社の発売するDTVチューナーAT-DTV4X、AT-DTV4X Proがコントロール可能です。
- 「ELUT DTV」 Elut製 AG406DTのコントロールが可能です。
- 「ALPINE DTV」 **AV入力のみ** アルパイン製地デジチューナー TUE-T500のコントロールが可能です。(別売のケーブルAT-IR335での接続が必要です。)
- 「ELUT DVD」 **AV入力のみ** Elut製DVDプレーヤー AG410-DVのコントロールが可能です。(別売のケーブルAT-IR335での接続が必要です。)
- 「NOT USE」 リモコン信号の出力は致しません。

「HDMI-CEC」

HDMI-CEC機能のON/OFF設定です。

- 「ON」 HDMI-CECの標準信号をHDMI端子経由で出力します。HDMI-CEC機能に対応した製品を接続した場合、車両スイッチやアイコンタッチ操作にてある程度の操作が可能となります。
※CEC機能で全ての操作が出来る訳ではありません。動作しない操作はリモコン操作して下さい。
- 「OFF」 HDMI-CEC信号の出力は行いません。

USB入力の注意事項

この入力はUSBメモリに記録した音楽ファイル、動画ファイルなどを再生するメディアプレーヤー機能となっています。

- ※USB接続のHDDなどは接続しないでください。電力不足など不具合の原因となります。
- ※.mp4 .avi .mpg .vob .dat .m4v .wmv .flv .mp3 .wav .flacなどのファイル再生に対応しています。
- ※対応したファイル形式でもエンコード(ビデオフォーマット)の仕方によっては再生出来ない場合があります。
- ※音楽ファイルはmp3のみファイルにマウントされたアルバムアートが表示に対応します。
- ※USB通信の無い充電専用ケーブルを接続する事でMAX1.2Aの電源出力も可能です。
- ※この入力は他の入力へ切り換えたり当製品再起動では前回最後の再生位置を記憶出来るTOPメニューとなります。ご了承ください。

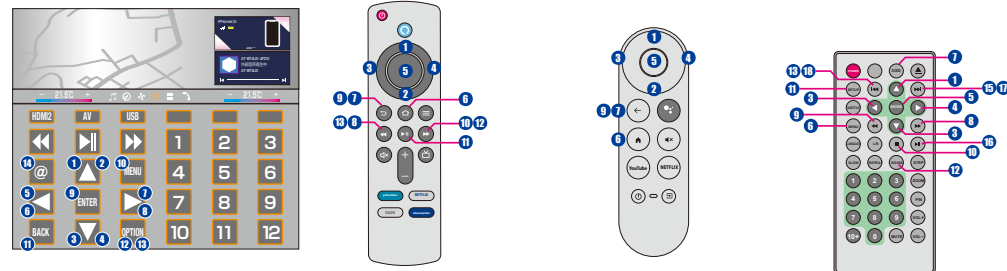
「MUTE ICON」

外部AV映像を表示中はボリューム操作やミュート操作を行っても状態は純正映像に表示されるので見る事は出来ません……
ボリューム操作は音量で判断出来るのですが、ミュート操作は音が消えるので誤操作などで消えた場合、不具合かも?と思うかも知れません。
この機能をONにしておくと、外部AV映像表示中でもミュートONになればミュートアイコンが中央に表示されます。

車両スイッチによる外部機器のコントロール

車両スイッチによる外部機器のコントロール (FireTV、GoogleTV、Elut DVDプレーヤー)

コントロール対応の機器を適切な結線、設定で行っていただければ操作アイコン/車両スイッチにてある程度の操作が可能となります。 Elut製DVDプレーヤーAG410-DVはAT-IR335ケーブルを使用して接続され適切な設定が行われていけば車両スイッチにてある程度の操作が可能となります。 外部AV映像の中心部分を2点タッチして操作アイコンを表示して操作も可能です。



アイコン/スイッチでの操作 Amazon FireTV

GoogleTV

Elut AG410-DV

「↑」アイコン	1 短押し	1 リモコンの↑ボタン	1 リモコンの↑ボタン	1 リモコンの↑ボタン
「↓」アイコン	2 短押し	2 リモコンの↓ボタン	2 リモコンの↓ボタン	2 リモコンの↓ボタン
「←」アイコン	3 短押し	3 リモコンの←ボタン	3 リモコンの←ボタン	3 リモコンの←ボタン
「→」アイコン	4 短押し	4 リモコンの→ボタン	4 リモコンの→ボタン	4 リモコンの→ボタン
「ENTER」アイコン	5 短押し	5 リモコンの決定ボタン	5 リモコンの決定ボタン	5 リモコンのENTERボタン
「MENU」アイコン	6 短押し	6 リモコンのHOMEボタン	6 リモコンのHOMEボタン	6 リモコンのMENUボタン
「ENTER」アイコン	7 長押し	7	7	7 リモコンのOSDボタン
「▶▶」アイコン	8 短押し	8 ▶▶信号	8 ▶▶信号	8 リモコンの▶▶ボタン
「◀◀」アイコン	9 短押し	9 ◀◀信号	9 ◀◀信号	9 リモコンの◀◀ボタン
「▶」アイコン	10 短押し	10	10	10
「BACK」アイコン	11 短押し	11 リモコンの戻るボタン	11 リモコンの戻るボタン	11 リモコンの■ボタン
「OPTION」アイコン	12 短押し	12	12	12 リモコンのSETUPボタン
「OPTION」アイコン	13 長押し	13	13	13 リモコンのDVD/USBボタン
「@」アイコン	14 短押し	14	14	14
オーディオ◀◀ボタン	15 短押し	15 ◀◀信号	15 ◀◀信号	15 リモコンの◀◀ボタン
オーディオ▶▶ボタン	16 長押し	16 リモコンの戻るボタン	16 リモコンの戻るボタン	16 無
オーディオ▶▶ボタン	17 短押し	17 ▶▶信号	17 ▶▶信号	17 リモコンの▶▶ボタン
オーディオ▶▶ボタン	18 長押し	18 ▶▶信号	18 ▶▶信号	18 リモコンの▶▶ボタン
ステアリングJOG+操作	19 短押し	19 ◀◀信号	19 ◀◀信号	19 リモコンの◀◀ボタン
ステアリングJOG+操作	20 短押し	20 ▶▶信号	20 ▶▶信号	20 リモコンの▶▶ボタン

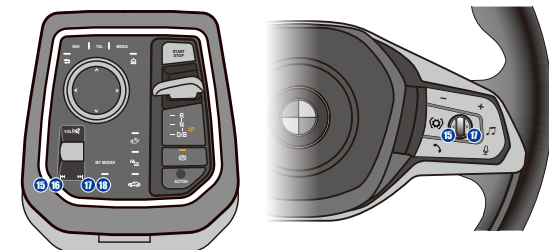
操作アイコンの無い表示方法での操作アイコンの表示方法

外部AV映像の中心部分を2本指を使い2点タッチします。(2点間隔は20mmほど離れるようにタッチして下さい。)消すには「OFF」アイコンを操作します。

操作アイコンの無い表示方法の場合、
外部AV映像の左側/右側を1秒ほどタッチすると
▶▶/◀◀の操作が出来ます。

- ※FireTV、GoogleTVの操作はVEMメニューの設定でHDMI-CEC機能ONで使用するのみ操作可能です。
- ※FireTV側やGoogleTV側のHDMI-CEC設定が必要です。
- ※HDMI-CEC機能に対応しないHDMIケーブルを使用した場合、操作出来ません。
- ※AG410-DVは標準機能として起動時の自動再生が行われます。当製品は車両起動後30秒以内に当入力呼び出さない場合は自動的に一時停止信号を送り、裏で再生が進まないように制御しポーズ状態で待機するようにしてあります。

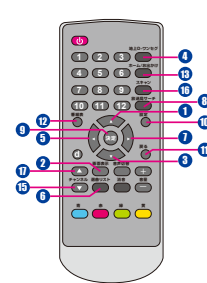
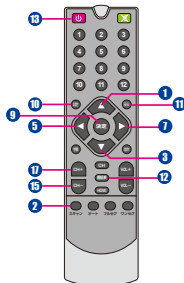
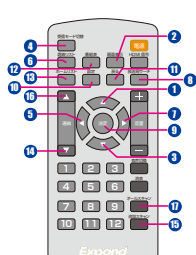
またDVD視聴状態から当製品の他ソースに切り換えた場合は停止信号を送り待機状態とします。
DVD視聴状態から純正画面に戻る場合には停止信号を送りません。



車両スイッチによる外部機器のコントロール

車両スイッチによる外部機器のコントロール(地デジチューナー)

コントロール対応のDTV機器を適切な結線、設定で行っていただく車両スイッチにてある程度の操作が可能となります。



アイコン/スイッチでの操作

Expand
AT-DTV4X / Pro

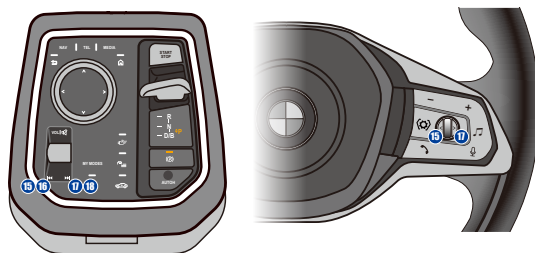
Elut
AG406DT

アルバイン
TUE-T500

「↑」アイコン	1 短押し 2 長押し	1 リモコンの↑ボタン 2 リモコンの画面表示ボタン	1 リモコンの↑ボタン 2 リモコンのスクリーンボタン	1 リモコンの↑ボタン 2 リモコンの画面表示ボタン
「↓」アイコン	3 短押し 4 長押し	3 リモコンの↓ボタン 4 リモコンの受信モード切替ボタン	3 リモコンの↓ボタン 4 リモコンのスクリーンボタン	3 リモコンの↓ボタン 4 リモコンの地上→ワンセグボタン
「←」アイコン	5 短押し 6 長押し	5 リモコンの←ボタン 6 リモコンの選局リストボタン	5 リモコンの←ボタン 6 無	5 リモコンの←ボタン 6 リモコンの選局リストボタン
「→」アイコン	7 短押し 8 長押し	7 リモコンの→ボタン 8 リモコンの放送局サーチボタン	7 リモコンの→ボタン 8 無	7 リモコンの→ボタン 8 リモコンの放送局サーチボタン
「ENTER」アイコン	9 短押し	9 リモコンの決定ボタン	9 リモコンの決定ボタン	9 リモコンの決定ボタン
「MENU」アイコン	10 短押し	10 リモコンの設定ボタン	10 リモコンの設定ボタン	10 リモコンの設定ボタン
「BACK」アイコン	11 短押し	11 リモコンの戻るボタン	11 リモコンの戻るボタン	11 リモコンの戻るボタン
「OPTION」アイコン	12 短押し 13 長押し	12 リモコンの番組表ボタン 13 リモコンのホームリストボタン	12 リモコンの番組表ボタン 13 リモコンの電源ボタン	12 リモコンの番組表ボタン 13 リモコンのホーム/お出かけボタン
「@」アイコン	14	14	14	14
オーディオ:◀ボタン	15 短押し	15 リモコンの選局↓ボタン	15 リモコンのCH-ボタン	15 リモコンのチャンネル↓ボタン
オーディオ:◀▶ボタン	16 長押し	16 リモコンの追加スクリーンボタン	2 リモコンのスクリーンボタン	16 リモコンのスクリーンボタン
オーディオ▶▶ボタン	17 短押し	17 リモコンの選局↑ボタン	17 リモコンのCH+ボタン	17 リモコンのチャンネル↑ボタン
オーディオ▶▶▶ボタン	18 長押し	18 リモコンのオールスクリーンボタン	2 リモコンのスクリーンボタン	8 リモコンの放送局サーチボタン
ステアリングJOG+操作	15 短押し	15 リモコンの選局↓ボタン	15 リモコンのCH-ボタン	15 リモコンのチャンネル↓ボタン
ステアリングJOG-操作	17 短押し	17 リモコンの選局↑ボタン	17 リモコンのCH+ボタン	17 リモコンのチャンネル↑ボタン

操作アイコンの無い表示方法での操作アイコンの表示方法

外部AV映像の中心部分を2本指を使い2点タッチします。(2点間隔は20mmほど離れるようにタッチして下さい。)消すには「OFF」アイコンを操作します。



操作アイコンの無い表示方法の場合、地デジ映像の左側/右側いずれかをタッチすると画面下部に10キーアイコンが表示されダイレクトに選局が可能です。

メニュー項目説明4 カメラ入力の設定

カメラ入力の設定です。CAMERA1入力端子はダイレクト接続でアルバイン製フロントカメラが接続可能となっています。カメラ入力は映像のみなので表示した時にも音声信号はそれまでの再生出力を維持します。カメラ入力はFULL画面出力のみに対応しています。両入力ともオプションのカメラ変換ハーネスでRCA接続対応とカメラ用電源供給が出来ます。カメラ1/カメラ2は設定方法は共通なのでまとめて説明します。

※カメラ入力はOFFにする設定は用意していません。使用しない場合は下記の「CAMERA CALL」で呼び出し操作を全てOFFにしてください。

「VIDEO SIGNAL」

接続したカメラの映像信号に合わせ選択します。当製品は通常のCVBS信号の他アナログHD信号にも対応しています。設定切り換え後は当製品の再起動動作を行ってください。

- 「CVBS」 通常のRCA接続するアナログ信号のカメラの設定です。(デフォルト設定です。)
※NTSC方式のみ対応。PAL方式は使用出来ません。
- 「AHD」 AHD信号タイプのアナログHD方式を採用したカメラの設定です。
- 「HD-TVI」 HD-TVI信号タイプのアナログHD方式を採用したカメラの設定です。

「CAMERA1/2 CALL」

カメラ入力呼び出する操作ボタンの選択です。(カメラ入力を使用しない場合、全てOFFにしてください。)

※カメラ1とカメラ2で呼び出し方法が重複しないように設定します。重複した場合、先に登録されていたほうが破棄されます。車両システムにより呼び出し方法のスイッチに差があります。VEMメニューに在る項目のみが選択可能です。

- 「MY MODES 2TOUCH」 MY MODESスイッチ部2連タッチします。プッシュでは有りません。
- 「PDC 2TOUCH」 PDCスイッチ部を2連タッチします。プッシュでは有りません。
- 「M/F ♪ 2PUSCH」 ステアリングの♪ボタンを2連プッシュします。
- 「M/F LIST 2PUSCH」 ステアリングのリストボタンを2連プッシュします。
- 「MUTE 2PUSCH」 オーディオボリュームボタンを2連プッシュします。
- 「BACK 2TOUCH」 iDriveコントローラーの「BACK」ボタンを2連タッチします。プッシュでは有りません。
- 「OPTION 2TOUCH」 iDriveコントローラーの「OPTION」ボタンを2連タッチします。プッシュでは有りません。

「POWER VOLT」

カメラ用電源の電圧設定の項目です。

- 「8V」 カメラ電源電圧を8Vで供給します。この電圧で動作しないカメラを接続した場合のみ12Vへ変更して下さい。
※接続するカメラによっては、カメラ表示直後に映像が安定しない場合があります。
- 「12V」 8Vで起動出来ないカメラを接続した場合のみ選択してください。
※アルバイン製フロントカメラは8V指定です。12V供給だと故障する可能性があります、ご注意ください。

「POWER TIMING」

カメラ用電源の出力開始のタイミング設定です。

- 「CAMERA LINK」 カメラ入力を呼び出すと同時にカメラに電源供給を行います。カメラ表示をOFFにすると電源供給も停止します。
※接続するカメラによっては、カメラ表示直後に映像が安定しない場合があります。
- 「IG-ON LINK」 車両のイグニッションONに連動して電源出力を開始します。
- 「WAKE UP LINK」 車両がスリープから起きたタイミングで電源出力を開始します。

「VIEW POINT」

地点登録する事によりその登録地点に25km/h以下の速度で近づくると自動的にカメラ入力を呼び出す機能です。

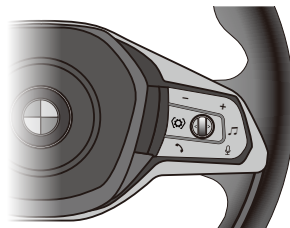
- 「POINT A」～「POINT H」 地点登録は8カ所可能です。
登録したい場所へ車両を移動してVEMメニューの「VIEW POINT」設定に入ります。
画面上部中央に現在の緯度経度情報が表示されます。
「POINT A～H」の何れかの未登録の白アイコンを選択しますと「登録地」に現在の緯度経度情報が記録されアイコン色が赤に変化します。
登録された赤アイコンを再度選択すると登録消去されます。
登録した地点の半径約30mに25km/h以下の速度で近づくると自動的にカメラ入力画面に切り換わるようになります。
半径約30m以外に移動するか30km/h以上で加速するとカメラ表示は終了します。
見通しの悪い交差点や細い道などを登録すると便利です。
自宅駐車場などを登録した場合など、バックギヤに入れた時には設定したリバースアクション動作のほうが優先されますので純正/バックカメラ付き車両の場合はリバースアクションのアクションタイミングをバックギヤ運動にしたほうが良い場合もあります。

外部AV映像の表示方法

外部AV映像の表示方法

●ステアリングスイッチ操作

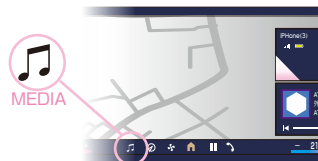
ステアリングの「iマーク」or「リスト」ボタンを長押しします。
約2秒長押しで外部AV映像が表示されます。
「iマーク」ボタン車両の場合、離すとメーターパネルorヘッドアップディスプレイにオーディオソース選択が表示されますのでJOG操作にてBluetoothオーディオを選択します。
これで映像+音声は完成します。
「リスト」ボタンの車両は先にBluetoothオーディオを選択してから行ってください。



●モニター内に表示される「MEDIA」アイコンでの操作

まず先にオーディオソースをBluetoothオーディオを選択してAT-BTAUX経由の音声再生を行います。
モニター内に有る「MEDIA」部分をロングタッチします。外部映像に切り換わります。

※純正映像も見える表示方法の場合、純正はメディア画面となっていますがiDriveコントローラー操作で純正操作可能です。



●iDriveコントローラーのMEDIAボタン長押し

まず先にオーディオソースをBluetoothオーディオを選択してAT-BTAUX経由の音声再生を行います。
iDriveコントローラーのMEDIAボタンを長押しします。外部映像に切り換わります。

※純正映像も見える表示方法の場合、純正はメディア画面となっていますがiDriveコントローラー操作で純正操作可能です。



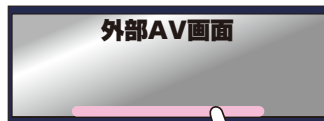
純正画面に戻す方法

モニター画面内に純正映像が見える表示方法の場合は純正映像部分をタッチする事で全て純正映像に戻ります。

※iDriveコントローラー操作では、純正のみに戻らず純正画面のコントロールが出来ます。

純正映像の見えない表示方法の場合は外部AV映像の下部分をタッチすると純正画面に戻ります。
iDriveコントローラーの各ボタンのショートプッシュでも純正映像に戻ります。

※その他リバースアクション動作で一時的に純正映像に戻る動作も有ります。



スマートフォンなどハンズフリー接続をする場合の注意

車両にスマートフォンのBluetooth接続設定をする場合は、スマートフォン側の設定で車両とのBluetooth接続設定でメディアのオーディオをOFFにしてお使用下さい。

Bluetoothオーディオとしてスマートフォンのメディア再生は出来なくなりますが、メディア再生はCarplay or AndroidautoでWi-Fi経由で再生可能です。

Bluetoothオーディオ接続は外部AV機器再生のAT-BTAUXで使用します。

他の機器の登録が有ると起動時にどちらか選択されるか判りません……

またAT-BTAUX接続が確立しても、車両が他のBluetoothオーディオ接続を検索する際に音声にノイズが混入しますので、他のBluetoothオーディオ機器は登録しないようにして下さい。

外部AV映像の表示パターンの変更方法

外部AV映像の表示パターンの変更方法

外部AV映像の表示パターンには4種類あります。
外部AV映像の中心部分をロングタッチしますと画面下側に表示サイズ変更アイコンが表示されます。お好みの表示方法を選択して下さい。
既に表示サイズ変更アイコンが表示されている表示方法③の場合は直接アイコン操作をしてください。

① 外部AV映像FULLスクリーン

純正映像に戻すには画面の下部分をタッチします。iDriveコントローラーのボタン操作でも戻ります。
画面中央を2点タッチしますと②の表示方法に暫定的に切換え出来ます。

② 外部AV映像80%表示して右側20%にアイコンを表示

純正映像に戻すには画面の下部分をタッチします。iDriveコントローラーのボタン操作でも戻ります。暫定的にこの表示方法にした場合は「OFF」アイコンをタッチすると元の表示サイズに戻ります。

※全てのアイコンが動作出来る訳では無く操作出来ないアイコンも有ります。ご了承下さい。

③ 外部AV映像を左側に16:9表示して右上に純正映像表示、右下に操作系アイコン表示

右上の純正映像部分をタッチすると全て純正映像に戻ります。この表示のまま純正操作はiDriveコントローラーで行います。右下の操作系アイコンでコントロール対応した外部機器の操作が出来ます。また入力切替/表示サイズ切替アイコンも表示されているので直接変更出来ます。

※全てのアイコンが動作出来る訳では無く操作出来ないアイコンも有ります。ご了承下さい。

④ 外部映像を左に16:9表示して右側に純正映像横圧縮表示FULLスクリーンに外部AV映像小窓表示

右側の純正映像部分をタッチすると全て純正映像に戻ります。この表示のまま純正操作はiDriveコントローラーで行います。



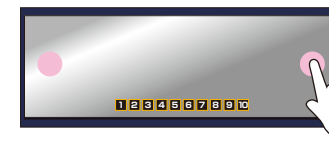
画面上に10キーアイコンの表示方法 (コントロール対応地デジ操作の場合)

①④の表示方法の場合、外部AV映像の右側/左側いずれかをタッチしますと画面下に3秒間10キーが表示されます。

10キーを操作する事で地デジのチャンネル変更がダイレクト選局出来ます。

※コントロール機能対応地デジチューナー接続して適切に設定を行っている場合。

②③の表示方法の場合、既に画面内にアイコンが表示されているので直接操作して下さい。



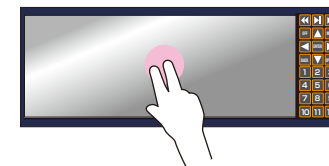
画面上に操作アイコンの表示方法 (暫定的に②の表示方法に切り換える)

①④の表示方法の場合、外部AV映像の中心部分を使い2点タッチします。
(2点間は20mmほど離れるようにタッチして下さい。)

②の表示方法に暫定的に切り換わります。表示された「OFF」アイコンをタッチすると元の表示方法に戻ります。

※暫定的に表示している為外部AV映像内での他のタッチ操作は全て無効です。

※暫定的に③の表示方法にしている時は「@」アイコンの代わりに「OFF」アイコンが表示されます。



外部AV入力のソース切替方法

①②④の表示方法の場合、外部AV映像が表示されている中央部分を「トントン」と2連打でタッチ操作を行ってください。
画面下側に切替可能な外部AVソースアイコンが表示されますので、ご希望の外部AVソースアイコンをタッチします。

選択した外部AVソースに切り換わります。

外部AVソースアイコンは3秒間操作しないと消去されます。

※VEMメニューで「NOT USE」を選択した入力は表示されません。

③の表示方法の場合は入力切替えアイコンが表示されているので直接操作して下さい。



リバースアクションによる動作

バックギヤに入れる事で自動的に外部AV映像から純正映像に戻ります。

PDC優先動作でリバースアクションが動作する設定の場合はバックギヤを抜いてもカメラ&PDCの画面のままです。

PDCをOFFにする事で元の外部AV映像に戻ります。

※前進走行を少しする事でカメラ&PDCはOFFになるので元の画面に戻ります。

※PDC-ONの状態では外部映像やVEMメニューは呼び出せません。呼び出し操作をすると警告表示します。

バックギヤ連動動作でリバースアクションが動作する設定の場合はバックギヤから抜いた直後に元の外部AV映像に戻ります。

※この設定ではPDC検査はしませんのでオートPDC機能による動作にはリバースアクションは追従しません。

※バックギヤに入ったままですと外部映像やVEMメニューは呼び出せません。